

弊社取扱い主要航空会社 ①中部・静岡・富山・小松 ②成田・羽田・関西運航情報 <2022年2月18日現在>

航空会社 ◆国際線①◆		発着空港	路線	フライト名	期間	●黄色箇所は今週更新分です	
AY	フィンエアー		中部	ヘルシンキ	080/079	運休	5/29より週3便、6月より週4便、7/2より毎日 運航予定 成田発 毎日運航、関空発 週3便にて運航、その後、増便予定
BR	エバー航空		中部	台北	127/128	運休	-
			小松	台北	157/158	運休	-
BX	エアブサン	LCC	中部	ブサン	131/132	運休	-
CA	中国国際航空		中部	上海	406/405	運休	3/26まで
				北京	160/159	運休	3/26まで
					760/759	運休	3/26まで
CI	チャイナエアライン		中部	台北	151/150	運休	3/27まで
					155/154		2/16、23、3/2、9、16、23(水) 運航
			静岡	台北	169/168	運休	3/25まで
			富山	台北	171/170	運休	3/25まで
							※台湾乗り継ぎの以遠は3/26まで停止
CX	キャセイパシフィック航空		中部	香港	533/532	運休	3/31まで
					539/536	運休	3/31まで
				台北・香港	531/530	運休	3/31まで
CZ	中国南方航空		中部	上海	380/379	運休	-
				広州	6056/6055	運休	-
				大連	620/619	運休	-
DL	デルタ航空		中部	ホノルル	612/611	運休	-
				デトロイト	094/095		名古屋(日)発、デトロイト(金)発 週1便 運航 ※羽田発着 週3便にて運航
EY	エティハド航空		中部	アブダビ	889/888	運休	-
							成田発着 週3便にて運航
HO	上海吉祥航空		中部	上海	全便	運休	-
				南京	1602/1601	運休	-
							関空発着 (1333/1334) 上海浦東 (火) 週1便、 関空発着 (1610/1609) 南京 (木) 週1便にて運航
JL	日本航空		中部	台北	821/822	運休	2/28まで
				上海	883/884	運休	2/28まで
				天津	841/840	運休	2/28まで
				ホノルル	794/793	運休	2/28まで
							(台北) 成田 週2便、羽田 週5便 運航 (ホノルル) 成田発着 2/28まで 毎日
KE	大韓航空		中部	ソウル	744/743	運休	3/26まで
					742/741		毎週(水土)の週2便 運航 ※3/26まで水曜運休 3/26まで 成田発着(704/703) 毎日 ※3/26まで火曜運休 関空発着(724/723)(水木)の週2便 運航 ※3/26まで木曜運休
				ブサン	754/753	運休	-
			小松	ソウル	776/775	運休	-
LH	ルフトハンザドイツ航空		中部	フランクフルト	737/736	運休	5/31まで
							6月より中部発(月火木土日)の週5便 運航予定
MU	中国東方航空		中部	上海	292/291	運休	3/26まで
					720/719	運休	3/26まで
				上記以外		運休	3/26まで
				北京	744/743	運休	3/26まで
					121/122		2/28まで(金)の週1便 運航予定
OZ	アジアナ航空		中部	ソウル	123/124	運休	2/28まで
							成田(101/102) 毎日、関空(111/112) 毎日 運航予定 (※但し欠航日あり)
PR	フィリピン航空		中部	マニラ	437/438		4/2まで(月水金土)週4便、4/3~7/4(月水金土日)週5便、 7/5~10/29(月火水金土日)週6便 運航予定
				セブ	479/480	運休	4/29、5/4~7/3(水土)週2便、7/4~10/1(月水土)週3便、 10/2~29(月水土日)週4便 運航予定
SQ	シンガポール航空		中部	シンガポール	671/672		(水土日)の週3便 運航 成田発着 毎日、関空発着 毎日、福岡発(木土)の週2便 羽田発着(火木日)の週3便 運航予定
TG	タイ国際航空		中部	バンコク	645/644		2/28まで(水金日)の週3便、 3/1~26まで(水木金日)の週4便 運航予定
					647/646	運休	3/26まで
							3/26まで 成田発 毎日、関空発2/28まで (月水木土日)、3/2~26 毎日 運航予定
TW	ティーウェイ航空	LCC	中部	ソウル	238/237	運休	3/26まで
UA	ユナイテッド航空		中部	グアム	136/137	運休	-
					172/171	運休	-
							成田発着 197/196 毎日 運航
VN	ベトナム航空		中部	ハノイ	347/346		中部発着 (HAN)10/29まで (水)の週1便 運航予定
				ホーチミン	341/340	運休	-
							10/29まで成田発着 ハノイ(水木日)週3便、ホーチミン(土)週1便、関空発着 ハノイ(水金)週2便 運航予定
5J	セブパシフィック航空 (第1ターミナル利用)	LCC	中部	マニラ	5039/5038		2/28まで(火土)の週2便 運航予定
7C	チェジュ航空	LCC	中部	ソウル	1607/1608	運休	3/31まで
					1601/1602	運休	3/31まで
							関空発着 1301/1302(日)、 成田発着 1105/1106(土)週1便 運航
7G	スターフライヤー航空		中部	台北	811/810	運休	10/29まで

航空会社 ◆国際線②◆		発着空港	路線	フライト名	期間	●黄色箇所は今週更新分です
AM	アエロメヒコ	成田	メキシコシティ	057/058	運休	10/29まで
EK	エミレーツ航空	成田	ドバイ	319/318	毎日 運航	
		羽田	ドバイ	313/312	2/22～ 羽田発(月水木土) ドバイ発(火水金日) の週4便運航	
		関西	ドバイ	317/316	関空発(火水木金土) 週5便運航	
		名古屋-関空のシャトルバスサービス(名古屋発16:00/関空着19:20)(関空発20:30/名古屋着23:50)				
ET	エチオピア航空	成田	アディスアベバ	673/672	成田発直行便として 2月は(日)発週1便、3/27まで(日水)発週2便 3/28～10/30まで(月水金)の週3便 運航予定	
GA	ガルーダインドネシア航空	羽田	ジャカルタ	875/874	2/28まで HND/JKT(金日)発、JKT/HND(水金)発の週2便 運航	
		成田	デンパサール	881/880	運休	2/28まで
		関西	ジャカルタ	889/888	運休	2/28まで
			デンパサール	883/882	運休	2/28まで
NZ	ニュージーランド航空	成田	オークランド	090/099	成田発 4/17まで(土)、4/18～7/3(木土)、7/4～10/29(火木土)運航予定	
5J	セブパシフィック航空	成田	マニラ	5055/5054	2/28まで(水金)の週2便 運航	
		関空	マニラ	827/828	2/28まで(月金)の週2便運航	
		福岡	マニラ	923/922	2月は15(火)のみ運航	

★★★ Peach(ピーチ)★★★ 下記4方面 パッケージ商品ございます

航空会社 ◆国内線◆		期間	路線	スケジュール	運休日(2/15更新分 赤字)		
MM	ピーチアビエーション (中部は第一ターミナルを 利用)	3/26まで	中部	新千歳	461	08:00/09:45	2/22-24は運休
					463	13:25/15:10	
					465	17:50/19:35	
			千歳	中部	462	10:35/12:30	2/22-24は運休
					464	14:35/16:30	
					466	19:50/21:45	
			中部	仙台	491	08:40/09:50	2/28まで 3/1-10は運休
					493	18:30/19:40	
			仙台	中部	492	08:00/09:20	2/19、21-26、28、3/1-3、8-10は運休
					494	16:15/17:35	
			中部	那覇	481	07:30/10:00	2/28まで、3/1-10は運休
					483	10:15/12:45	
					485	17:00/19:30	
			那覇	中部	482	10:40/12:40	2/19、21-26、28、3/1-3、8-10は運休
					484	13:25/15:25	
486	20:10/22:10						
中部	石垣	487	13:45/16:50	2/19、22、24、26、3/1、3、9は運休			
石垣	中部	488	17:30/19:50				

※上記運航スケジュールは2/17 時点のもので変更になる可能性があります。必ずご確認くださいませようお願いします。

NEWS & INFORMATION

帰国・入国者の待機、3日に短縮で政府調整…入国者数上限は5000人に引き上げ (読売新聞オンライン 2/16付)

政府は、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の流行を受けた水際対策を3月から緩和し、感染リスクが高くない国からの帰国・入国者は自宅やホテルなどでの7日間の待機期間を3日間に短縮する方向で調整に入った。具体的には、感染リスクが高いとして帰国・入国者に指定施設での待機を求めている国・地域(15日時点で82か国・地域)は7日間の待機を続けるが、それ以外の国・地域は3日間とする方向だ。3回目のワクチン接種を終えた帰国・入国者は、感染リスクが高い国・地域でも、待機期間を3日間とする方向だ。3日間への短縮はいずれも検査での陰性が条件となる。また、入国者数の上限も現在の1日3500人程度から5000人程度に引き上げる方針だ。新規入国の手続きも簡素化する。政府が昨年11月末まで認めていたビジネス目的の短期滞在者や留学生などの入国では、受け入れ責任者が行動計画を所管官庁に提出し、事前審査を受ける必要があった。3月からは、事前審査をなくし、計画の提出先を厚生労働省に一歩化する。岸田首相が17日にも記者会見し、水際緩和策の全体像などについて公表する方針だ。

カナダ、28日から入国規制緩和 コロナ感染減少で (ロイター 2/16付)

カナダ政府は15日、新型コロナウイルス感染者の減少を受け、ワクチン接種を完了している海外からの渡航者を対象に28日から入国規制を緩和し、これまで義務付けてきた出発前の分子検査の代わりに迅速抗原検査を認めると発表した。新たな規制では入国時の検査義務も廃止し、無作為検査に移行する。また、ワクチン接種済みのカナダ国民が72時間以内の短期間に海外に渡航する場合の検査義務についても解除が検討されている。デューク保健相は「これらの変更は、オミクロン変異株の感染拡大がピークを過ぎただけでなく、国民が科学と専門家の意見に耳を傾けたからこそ可能になった」と述べた。保健省によると、カナダでは国民の約80%がワクチン接種を完了しており、40%超がブースター接種を受けている。海外渡航に関する勧告も、これまで不要不急の渡航を控えるよう呼び掛けていたが、注意喚起に変更している。カナダの旅行業界団体は今発表された規制緩和について、業界が必要とする状況に一步近づいたものの、出発前の迅速抗原検査を義務付けることで、政府はワクチン接種者への同様の検査義務を解除している他国と足並みをそろえる機会を逃したと指摘した。

【ベトナム】国際定期旅客便、15日から完全正常化 (NNA ASIA 2/15付)

ベトナム民間航空局(CAAV)は13日、国際定期便に関する制限措置を15日午前0時(国際標準時14日午後5時)で解除すると発表した。これにより、すべての国・地域を対象にした定期旅客便の運航が可能になる。国際定期旅客便に関する制限が解除されるのは、新型コロナウイルスの流行で特別便のみを認める体制に移行した2020年3月以来、約2年ぶりだ。CAAVは同日、航空管制業務を請け負うベトナム航空交通管理総公社(VATM)に対して、国際定期便の着陸制限の解除を各国・地域の航空当局や航空会社に通知するよう指示した。国際定期旅客便の再開で入国者数が増えれば、国外から感染が流入するリスク増加は避けられないが、ベトナム国内ではワクチン接種が進み重症化の増加に一定の歯止めが掛かっていると判断し、ビジネス往来や観光客の受け入れで周辺国に出遅れないことを優先したとみられる。ベトナム当局は今年1月から、日本、中国、韓国、台湾、タイ、シンガポール、ラオス、カンボジア、米国の9カ国・地域11都市に限定した国際定期旅客便を再開したが、今月15日以降はすべての国・地域との定期旅客便の再開が可能になる。CAAVによると、日本や韓国はベトナムからの入国制限が基準となり、中国もベトナムとの国際定期旅客便の再開に今のところ同意していないという。運航本数や対象都市については、新型コロナウイルス流行前の状態が基準となり、それを超える運航本数や新規路線の開設には関係当局の新たな許可が必要になる。ベトナムの保健省は現在、海外からの入国者に対するホテルなどの強制隔離期間を、規定回数以上のワクチン接種を終えている人は3日間、終えていない人は7日間としている。

オーストラリア、ワーキングホリデービザ申請料(495豪ドル)を実質無料化、4月19日までの入国を条件に (トラベルボイス 2/15付)

オーストラリア政府観光局によると、オーストラリアは2022年4月19日まで入国することを条件に、ワーキングホリデービザ申請料の全額返金制度を導入した。同国は2021年12月から、新型コロナウイルスのワクチン2回接種完了者を対象に、日本から隔離なしで渡航できるようにし、ワーキングホリデーの受け入れも再開している。2022年2月14日時点のビザ申請料は495オーストラリアドル。ワーキングホリデーは、協定国で生活資金を補うために働くことが認められている制度。オーストラリアのワーキングホリデービザは18～30歳が対象で、条件を満たせば最長3年間まで滞在できる。また、最長6か月間としている一事業者での就労期間の上限を2022年12月末まで撤廃し、同じ仕事を長く続けることができるようにした。オーストラリア政府観光局はワーキングホリデーの情報発信も強化する。公式Instagramで経験者によるライブイベントを開催するほか、コラボ企画としてオンラインセミナーなども開催する。

【インドネシア】追加接種済み入国者、隔離を3日間に短縮へ (NNA ASIA 2/15付)

インドネシアのルフット調整相(海事・投資担当)は14日、新型コロナウイルスワクチンのブースター接種(追加接種)を受けた海外からの入国者に対し、入国後に義務付けている隔離の期間を、現在の5日間から3日間に短縮すると発表した。来週から適用する。到着時と隔離3日目にPCR検査を実施する。隔離終了後は、入国後5日目に改めてPCR検査を実施し、結果を保健センターや医療機関に報告する。またルフット調整相は、今後の感染状況が改善すれば、全ての入国者に対し、3月1日から隔離期間を3日間に短縮する計画だと明らかにした。ワクチン接種率が高まれば、4月からは隔離なしでの入国を認める可能性も示唆した。

バンコクの英語名を「Bangkok」から「Krung Thep Maha Nakhon」に変更 (タイランドハイパーリンクス 2/16付)

タイ内閣は2022年2月15日、首都バンコクの英語での名称を、現在の「Bangkok(バンコク)」から「Krung Thep Maha Nakhon(クルンテープマハナコン)」に変更するという王立アカデミーの提案を承認しました。各報道が伝えています。ただし、「Krung Thep Maha Nakhon」と共に、今後も「Bangkok」は使用できるとのことです。なお「バンコク」は主に外国人が使う呼び名で、タイ人は「クルンテープ」あるいは「クルンテープマハナコン」と呼ぶことが多いです。——バンコクの正式名称は「クルンテープマハナコン アモンラッタナコーシン マヒンタラーユッタヤーマハーディロック ポップノッパラット ラーチャターニーブリーロム ウドムラーチャニウエート マハーサターン アモンピマーン アワターンサティット サッカタッティヤウイッサカムブラシット」——その意味は、「イン神(インドラ、帝釈天)がウイッサカム神(ウイシュヌカルマ神)に命じてお作りになった、神が権化としてお住みになる、多くの大宮殿を持ち、九宝のように楽しい王の都、最高・偉大な地、イン神の戦争のない平和な、イン神の不滅の宝石のような、偉大な天使の都。」

フィンエアー、長距離機材の客室を全面リニューアル、プレミアムエコノミーを新設 (トラベルビジョン 2/14付)

フィンエアー(AY)は、ヘルシンキで行われたオンラインプレス発表会で、長距離用機材で実施される客室の全面リニューアルの概要を明らかにした。AYは、2億ユーロを投じて、A350型19機およびA330型8機の客室を刷新。新たにプレミアムエコノミークラスを設けるほか、ビジネスクラスとエコノミークラスもアップグレードし、機内サービスも一新する。路線への投入は2022年春から。販売は今年3月1日からの予定だ。トビ・マンネルCEOは発表会で、今回の客室刷新について「パンデミックによって、航空業界は大きな影響を受けている。しかし、斬新かつプレミアムな顧客体験を提供することで、欧州ノアジア間など長距離路線で選ばれる航空会社になる」と説明。改めて、欧州とアジアを最短で結ぶ航空会社として、アジア路線重視の姿勢を示した。また、新設されるプレミアムエコノミークラスについて、「パンデミックによって、ホテルを従来よりもアップグレードするなどプレミアムな旅行を好む旅行者が増えている。プレミアムエコノミーはその需要に応えるもの」と自信を示したうえで、特にアジア路線での販売に期待をかけた。加えて、マンネルCEOは「世界の旅行需要が回復基調にある現在、客室の全面リニューアルは、いいタイミング」と言及。依然として海外旅行市場の先行きは不透明だが、4年をかけたプロジェクトの意義を強調した。長距離機材すべてへの導入は、AYが就航100周年を迎える2023年に完了する予定だ。新設されるプレミアムエコノミークラスは最大26席。座席配列は2-4-2。座席ピッチは38インチで、エコノミークラスよりも1座席あたり約50%広い空間を確保している。座席は、HAECOが新たに開発した「Vector」を採用。レックレスト、6通りで調整可能なヘッドなどを備え快適性を向上させたほか、13インチのスクリーン、ラップトップPCが収まる収納、電源、USB-Aポートも装備している。さらに、機内サービスでは、2種類の機内食を用意。「マリメッコ」がデザインしたネックピローとブランケットも提供する。ビジネスクラスは、ヘルシンキ空港にあるフィンエアー・ノンシェンゲンラウンジに合わせ、北欧調のデザインを取り入れ、暖かく落ち着いた雰囲気を出す。座席数は最大43席で配列は1-2-1。シェル型の座席によってプライベート空間を確保し、中央の2席は上げ下げ可能なシールドで仕切り、隣席の同行者との会話もスムーズに行えるようにした。また、収納スペースも拡充。電源、USB-AおよびUSB-Cポートのほか、ワイヤレス充電も可能にした。スクリーンは18インチ。機内エンターテインメントのコンテンツもさらに充実させた。このほか、ミールサービスではフィンランドが世界に誇る「イッタラ」が食器をデザイン。枕やデュベ(薄い掛け布団)などは、プレミアムエコノミーと同様に「マリメッコ」のコレクションを採用した。エコノミークラスの座席もアップグレード。最大265席で3-3-3の配列。座席ピッチは31インチに拡張し、新しい12インチスクリーンも装備した。AYは今夏、長距離路線では羽田線を含む約20路線を運航する計画。マンネルCEOは、アジア諸国の国境再開に期待を示しつつ、「長距離路線はAYにとって中核となるビジネス戦略。我々の新しいプレミアムな顧客体験を楽しんでほしい」とメッセージを送った。

アジア各国で「観光客受け入れ緩和」の動き…中国人観光客の回復がカギ (WOW! Korea 2/14付)

米誌「フォーチュン」が、アジア各国で観光客を受け入れる動きが相次いでいると報道している。報道によると、去年11月のオミクロン株登場時、各国政府は外国からの観光客受け入れ緩和政策を一時的に停止した。その後、オミクロン株の症状が軽いことや、潜伏期間が短いことが明らかになり、アジア各国では外国からの観光客受け入れ制限を再び緩和する動きが相次いでいる。例えば、タイ・マレーシア・インドネシア・フィリピンは今後数か月以内に外国からの観光客受け入れ緩和を行うと発表している。これらの国が緩和措置を行う目的は観光業界の景気回復である。しかし、従来最も多い中国からの観光客数が回復できるかどうかは疑問視されている。現在、多くの国で新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、観光客の入境制限を緩和しても中国からの旅行者回復は期待できない。そのため、太平洋アジア観光協会(PATA)は、観光業界が従来の水準まで回復するのは2024年以降だろうと予測を発表している。中国政府は「ゼロ・コロナ政策」維持のため、観光客の出入国制限緩和に慎重な姿勢を崩していない。そのため、中国から観光客が周辺国を訪問した場合、その国に入国する時には隔離措置を免除されても、中国帰国時に長期間の隔離措置を受けなければならない。このことが、中国人観光客の外国旅行需要を低下させている。新型コロナウイルス出現前の2019年のデータによると、タイを訪問した外国からの観光客の4分の1以上が中国からの観光客だった。同年のデータで、インドネシアでは国別で中国からの観光客が2番目に多く、マレーシアでは3番目に多かった。これはアジア各国の観光業回復における、中国人観光客の重要性を示唆している。アジアの一部国家は、中国人観光客の帰国時隔離措置免除について中国政府と協議したい意向を示している。しかし、中国が「ゼロ・コロナ政策」を続ける以上、そういった協議が実現する可能性は低い。

台湾、検疫10日に短縮 ビジネス客受け入れも再開へ=早ければ3月中旬にも (フォーカス台湾 2/14付)

中央感染症指揮センターは14日、新型コロナウイルスの水際対策について、春節期間終了後の規制緩和計画を発表した。入国者に対して義務付けている検疫(外出禁止)措置を現在の14日間から10日間に短縮するほか、ビジネス客の受け入れも再開する。指揮センターの陳時中(ちんじちゆう)指揮官は記者会見で、早ければ3月中旬にも施行する見通しを明らかにした。春節期間中を対象に導入している入国時の検疫プランは今年28日に終了する。水際対策の緩和について陳氏は、国内の感染状況の落ち着いたほか、変異株「オミクロン株」の潜伏期間の短さ、オミクロン株による感染者の入院率や重症化率の低さ、台湾内でのワクチン接種率の上昇などを考慮したと説明した。緩和計画では、「1人1戸」を原則に自宅や親族、知人宅での検疫が可能になる。検疫場所は現在、検疫用ホテル(防疫旅館)または集中検疫所しか認められていない。ビジネス客の入国についても、検疫期間を同様に10日間とする。入国者には入国時と検疫10日目にPCR検査を実施する。これに加え、検疫3日目、5日目、7日目および検疫期間終了後の自主健康管理期間の6~7日目に各1回、計4回の簡易検査の実施を求める。陳氏は規制緩和の実施時期について、国内の感染状況の落ち着いた▽新型コロナウイルスの3回目接種率が5割を超える▽関連の措置の完備の一の3点を考慮する必要があるとした。台湾の3回目接種率は13日現在で約29.6%。

マレーシア、外国人観光客の受け入れ再開へ 早ければ3月から (訪日ラボ 2/14付)

マレーシアの政府諮問委員会は、早ければ3月1日から外国人観光客の受け入れ再開に合意しました。現在、マレーシアへの観光目的での入国は、ランカウイ島への「ランカウイ国際トラベルバブル」を除き禁止されています。しかし今回、マレーシアの政府諮問委員会は、早ければ3月1日から、強制検疫なしで外国人観光客の受け入れを再開することに合意しました。ただし、委員会の議長であるマレーシアのムヒディン・ヤシン前首相は、「入国前と入国後に検査を受ける必要がある」と述べました。また、前首相は「マレーシアは昨年、ランカウイのトラベルバブルを再開したが、入国要件はとて厳しかった」と述べ、「その結果、2021年にマレーシアを訪れる旅行者はほとんどいなかった」とマレーシアの入国について言及しました。感染拡大が始まって以来、マレーシアの国境は旅行者に向けてほとんどが閉鎖されてきました。しかし今回景気回復のために国境制限を緩和することを計画しています。

中国、不要不急の渡航目的でパスポート更新認めず (ロイター 2/14付)

中国国家移民管理局は、不要不急でない海外渡航のための旅券の更新を認めないの方針を明らかにした。世界の新型コロナウイルス感染状況が依然深刻で、国境を超える移動は「安全保障上大きなリスク」をもたらすためとした。研究や就労、ビジネス目的の個人渡航者には「通常の発行」を行うと説明した。観光目的の渡航に対する旅券更新が認められるとのうわさについて、誤りと否定した。中国は、海外からコロナウイルスが持ち込まれて国内で拡散するのを防ぐため、国民の海外渡航規制を強化。緊急でない渡航を希望する個人に対する一般旅券の新規発行を停止している。

ANA、中部・関空着国際線臨時便を設定 ブリュッセル発中部行きなど8路線 (TRAICY 2/14付)

全日本空輸(ANA)は、名古屋/中部・大阪/関西着の国際線臨時便を運航する。ロサンゼルス・サンフランシスコ・ヒューストン・シカゴ・フランクフルト発大阪/関西行き、サンフランシスコ・フランクフルト・ブリュッセル発名古屋/中部行きを運航する。サンフランシスコ・フランクフルト発大阪/関西行きのみ2便、それ以外は1便を設定する。機材はボーイング777-300型機かボーイング787-9型機を使用する。
■ダイヤ: NH1917 ロサンゼルス(10:30)~大阪/関西(15:15+1)/3月13日、NH1915 サンフランシスコ(13:30)~大阪/関西(18:35+1)/3月12日、NH1915 サンフランシスコ(14:30)~大阪/関西(18:35+1)/3月26日、NH1911 サンフランシスコ(14:30)~名古屋/中部(18:25+1)/3月20日、NH1921 ヒューストン(11:45)~大阪/関西(17:35+1)/3月12日、NH1935 シカゴ(12:30)~大阪/関西(16:35+1)/3月19日、NH1926 フランクフルト(20:45)~大阪/関西(16:35+1)/3月14日・21日、NH1916 フランクフルト(20:45)~名古屋/中部(16:15+1)/3月17日、NH1928 ブリュッセル(20:05)~名古屋/中部(15:35+1)/3月11日

タイ、入国税を徴収延期の可能性、早く6月か (TRVLWIRE 2/14付)

The Bangkok Postによると、タイは4月1日から予定していた入国税(tourism fee)の徴収を最低2ヶ月間延期する可能性がある。徴収方法の確定に時間がかかるためという。入国税は1人あたり300バーツを予定しているもので、旅行観光産業からはコロナ禍からのリカバリーを阻害すると反対の声が上がっているところ。また、徴収を代行することになる航空会社は準備に最低3ヶ月間は必要と訴えている。なお、300バーツのうち20%は旅行保険に、50%は観光開発に投じられる計画という。

イギリス ワクチン接種者の入国後検査を撤廃 水際対策はほぼなし (NHK 2/12付)

イギリス政府は、新型コロナウイルスの感染者が減少し重症者の数も比較的抑えられているとして、ワクチン接種を終えた人に対する入国後のウイルス検査を撤廃しました。入国前の検査は先月、すでに撤廃されていて、これでワクチン接種をした人については水際対策がほぼなくなりました。イギリスでは、一日の新たな感染者が20万人を超える日もありましたが、最近は減少傾向にあり、ここ数日は5万人から6万人台となっています。イギリス政府は、重症者の数も比較的抑えられているとして11日、ワクチン接種を終えた人に対しイングランドで入国後に求めていたウイルス検査を撤廃しました。入国前の検査は、先月、すでに撤廃されていて、引き続きワクチン接種の有無や渡航履歴などを記入し入国前にオンラインで提出する必要がありますが、ワクチン接種を終えた人については水際対策はほぼなくなりました。これについてイギリスに住む人からは歓迎の声が聞かれ、このうち40代の女性は「経済にとってよいことだと思います。休暇の旅行を予約し、ギリシャに行きたいです」と話していました。また、20代の男性は「すべてがコロナ前の元の状況に戻っていくのはよいことで、暖かい国に旅行したいです。ただ、新型コロナ自体はまだ存在しているので、免疫を得るためにワクチンの接種をもっと進める必要があります」と話していました。仕事や家族との旅行などで海外に行くことが多かったという自営業のヘレン・バスサさんは、水際対策がほぼ撤廃されたことを歓迎しています。イギリス中部ダービーシャーに住むバスサさんは、これまで子どもたち3人と海外旅行に行く際は、入国前後のウイルスの検査で多額の費用がかかっていたといいます。また、検査の結果が予定どおり出ないこともあり、出発直前に空港で検査をやり直したり、帰国後は、検査結果が出るまで自宅で待機を求められたりして不便を感じていたといいます。このため、先月、入国前の検査が撤廃され、さらに11日からは入国後の検査も不要となったことで、出張や旅行をしやすくなるかと考えています。すでに3回目のワクチン接種を終えたというバスサさんは、今月と来月、出張と旅行のためフランスを訪れるということで「多くの人は飛行機に乗ることに非常に慎重だと思いますが、再び世界を見に行けることは本当に素晴らしい」と話していました。イギリスでは、今月9日の時点で、ワクチンの追加接種を終えた人は、12歳以上ではおよそ65%以上の中、水際対策を含めた規制の撤廃が進んでいます。イギリスの人口の大半を占めるイングランドで、ワクチン接種を終えた人に対して水際対策がほぼなくなったことについて観光業界からは歓迎する声が上がっています。旅行会社で広報を務めるデービッド・チャイルドさんは、これまでの旅行業界の状況について「ほぼ毎週のように出入国の際の規制が変わり、お客様に規制について理解してもらい、旅行計画を立ててもらうことはとても大変だった」と振り返りました。一方、規制の緩和が発表されてからは旅行の予約が相次いでいて、去年の同じ時期と比べて3倍に増えているということです。チャイルドさんは「規制の撤廃は素晴らしいニュースで、旅行を考えるなら今だ、と思わせるものだった。ワクチン接種証明とパスポートさえあれば、比較的自由に旅行できるようになるわけで、うれしいことだ」と歓迎しました。また「この夏の長期休暇はコロナ前と同じ状況が見込めるのではないかと」ということで、少し奮発した旅行計画を立てている人も多く、予約客の80%が4つ星や5つ星のホテルを予約している」と分析していました。

フランス、接種者は全面入国可能 規制緩和、陰性証明は不要 (KYODO 2/12付)

フランス政府は11日、新型コロナウイルスのワクチン接種が世界的に広がり、オミクロン株が流行の主流となったことを受け、本土の入国規制を12日から緩和すると発表した。欧州連合(EU)の規定に沿ったワクチン接種証明を提示すればどの国からでも入国でき、出発時の陰性証明は不要となる。未接種の場合は引き続き陰性証明の提示を求める。流行が比較的穏やかな「緑」カテゴリーに分類された国々からは入国後のウイルス検査や隔離は不要。日本は「緑」に該当する。

豪NZ、コロナ水際対策を転換 厳格規制から共生へ (KYODO 2/12付)

世界で新型コロナウイルス対策の入国規制を緩和する動きが広がる中、「鎖国」とも称される厳格な水際対策で一時は感染者ゼロを目指したオーストラリアとニュージーランドが今月、相次いで緩和方針を発表、コロナとの共生にかじを切った。オーストラリアはワクチン接種を条件に21日から全ての国からの入国を許可。ニュージーランドも国境再開の行程表を示し、10月までに正常化したい考えだ。ニュージーランドは2020年3月から入国を全面禁止。国民の帰国も特例による許可が必要だ。申請がなかなか行かないことから「宝くじシステム」ともやゆされた。

フィリピン ワクチン接種条件なしの入国再開 (NHK 2/11付)

東南アジアで新型コロナワクチン接種の完了を条件に外国人の入国制限を緩和する動きが進んでいて、このうちフィリピンでは2年近くに及んだ制限が10日に緩和され旅行者などの入国が再開しました。フィリピン政府は新型コロナウイルスの感染対策の一環として2020年3月から日本人を含めたすべての外国人の入国を厳しく制限してきました。しかし国内のワクチン接種率が50%を超えたばかりの新規感染者数も先月、過去最多の3万9000人余りに上ったあとは減少に転じ、9日は10分の1以下の3600人余りでした。こうした状況を受けフィリピン政府は10日、日本を含めた157か国から渡航する外国人を対象にワクチンの接種を終えていることなどを条件に隔離期間なしの入国を再開させました。首都マニラの国際空港に到着したマレーシア人の男性は「国境が開くと知りこの2年間離れ離れだったフィリピン人のパートナーと結婚するため、最初の飛行機に乗ってきました」と話していました。東南アジアでは経済の立て直しに向けワクチン接種の完了を条件に外国人旅行者の受け入れを再開する動きが進んでいて、タイでは今月1日からすべての入国者に対する隔離を免除しているほか、マレーシアでも政府の諮問機関が早ければ来月1日から入国後の隔離を免除して外国人旅行者の受け入れを再開するべきだと勧告しています。インド政府はすべての入国者に義務づけられてきた7日間の隔離措置などの水際対策を今月14日から緩和する方針を明らかにしました。インドでは新型コロナの新規感染者数が昨年末から再び増え始めたことを受け先月11日以降、すべての入国者を対象に7日間の隔離や入国後8日目にPCR検査を受けることを義務付けるなど水際対策を強化してきました。その後、新規感染者数が先月下旬から減少に転じ医療施設の受け入れ態勢にも問題がないことを受け、インド政府は今月14日以降、入国者へのこうした検査措置を行わない方針を明らかにしました。ただ入国者はこれまでどおり出発前の72時間以内に行けたPCR検査で陰性だったことを証明する書類を提出する必要があるほか、入国者の一部を無作為に選んでPCR検査を行う措置は続けるとしています。WHO=世界保健機関によりますと、今月6日時点のまとめで世界全体では1週間の新規感染者数は前の週に比べて17%の減少となっています。

韓国・ハワイからの入国、指定施設での待機を3日に短縮 (日本経済新聞 2/11付)

政府は10日、韓国など15カ国とハワイ州など米国の3州からの入国者に課していた入国後の指定施設での待機期間を6日間から3日間に短縮すると発表した。入国後7日間の待機を求めた新型コロナウイルスの水際対策自体は変わらず、そのうちの指定施設での待機期間を短くする。11日午前0時から実施する。ガーナやカザフスタンなど9カ国については施設での待機期間をなくす。これまでは施設で3日間待機させていた。現在、入国者には水際対策として入国後7日間は自宅や宿泊先、施設などでの待機を求めている。そのうち一定期間は政府指定の施設に滞在させており、入国元の国での感染状況によって期間は異なる。

厚労省、入国手続の一部をウェブ化「ファストトラック」開設 (TRAICY 2/8付)

厚生労働省は、日本への入国者に対する空港検疫で実施している手続の一部を、入国健康届確認アプリ「MySOS」を通じて、ウェブサイト上で入国前に済ませることができる「ファストトラック」を開設する。質問票と誓約書の記入、ワクチン接種証明書と出国前72時間以内の検査証明書の有効性の確認、「MySOS」のインストールとログインの確認が事前に行ける。これらの手続を入国前に済ませることで、到着後の手続を簡素化、迅速化することができる。なお、ワクチン接種証明書の提示による緩和措置は2月28日まで停止されており、停止期間中はファストトラックでも利用できない。まずは2月7日から、関西国際空港での入国者に対して試行を開始し、順次、成田国際空港、羽田空港、中部国際空港、福岡空港にも展開する。

ANA、海外渡航書類の事前確認サービス「ANA Travel Ready」を開始 (TRAICY 2/7付)

全日本空輸(ANA)は、国際線の渡航書類事前確認サービス「ANA Travel Ready」を2月7日から開始した。各国の入国条件や陰性証明書、ワクチン接種証明書などの必要渡航書類をオンライン上で事前登録することで、出発時に必要な書類が揃っているか、追加に必要な手続きがないかなどを確認できる。「ANA Travel Ready」は、航空券購入後にアクセスできるほか、出発時刻の72時間前にもメールで通知される。すべての書類が有効であると確認できた場合には、出発時刻の24時間前からオンラインチェックインを利用できる。これにより、預け入れ手荷物が無い場合には、空港での書類確認が不要となり、直接保安検査場に進むことができる。ANAが運航する、東京/羽田・東京/成田発欧米と中国行き全19路線20便が対象。2月10日搭乗分から利用できる。

エチオピア航空、東京/成田～アディスアベバ線の直行便運航継続 2月は週1便、3月は週2便 (TRAICY 2/7付)

エチオピア航空は、東京/成田～アディスアベバ線の直行便での運航を継続し、一部の便を運休する。2月は日曜の週1便、3月は水・日曜の週2便を直行便で運航する。本来は往復ともに、ソウル/仁川経由で運航している。機材はボーイング787-8型機を使用する。
■ダイヤ:ET673 東京/成田(21:10)～アディスアベバ(06:05+1) / 日(2月8日～28日)、水・日(3月1日～27日)、ET672 アディスアベバ(23:15)～東京/成田(17:20+1) / 日(2月8日～28日)、水・日(3月1日～27日)

ガルーダ・インドネシア航空、東京/成田～デンパサール線の運航再開 週1便で (TRAICY 2/8付)

ガルーダ・インドネシア航空は、東京/成田～デンパサール線の運航を再開した。2月3日から東京/成田発のみ、木曜の週1便を運航する。デンパサール発は貨物便として運航する。2月の日本線は、東京/羽田～ジャカルタ線の週2便のみを運航する予定だった。
■ダイヤ:GA881 東京/成田(09:15)～デンパサール(16:00) / 木(2月3日～24日)

シンガポール航空、東京/成田～ロサンゼルス線を増便 3月27日から1日1便 (TRAICY 2/5付)

シンガポール航空は、東京/成田～ロサンゼルス線を3月27日から1日1便に増便する。現在はボーイング777-300ER型機で週4便を運航しており、これを1日1便に拡大する。所要時間は、東京/成田発が10時間10分、ロサンゼルス発が11時間30分。

■ダイヤ:SQ12 シンガポール(09:25)～東京/成田(17:30/18:40)～ロサンゼルス(12:50)、SQ11 ロサンゼルス(14:20)～東京/成田(17:50+1/19:00+1)～シンガポール航空(01:15+2)

シンガポール航空、テスト&ゴー利用者に向け日本発タイ5都市へのフライトを宣伝 (アジアトラベルノート 2/3付)

シンガポール航空(Singapore Airlines)は、今月からタイで隔離なし入国制度(テスト&ゴー)が再開されたことを受けて日本発タイ各都市行きの乗り継ぎ便を積極的に宣伝しています。プーケットについては昨年と同航空のフライトを利用してシンガポール経由でプーケット入りするのが一般的でしたが、現在は子会社のスクート(Scoot)もタイ4都市(バンコク、プーケット、チェンマイ、クラビー)への路線を運航。さらにコードシェアをしているバンコクエアウェイズ(Bangkok Airways)の便を含めると、日本からはバンコク、プーケット、チェンマイ、クラビー、サムイの5都市から入国することが可能になっています。

NZ、入国制限を段階的に緩和へ (時事通信 2/3付)

ニュージーランドのジャシンダ・アーダーン(Jacinda Ardern)首相は3日、新型コロナウイルス対策で実施している厳格な入国制限を27日から5段階に分けて緩和すると発表した。10月までの撤廃を目指す。ニュージーランドは新型コロナの流行開始からほぼ2年間にわたり、世界で最も厳しい入国制限を維持してきたが、国内では緩和を求める声が高まっていた。アーダーン氏は「家族や友人が再会を待ち望んでいる。企業は成長のための人材が必要だ。輸出業者は新しいコネクションを広げなければならない」と説明した。まず、海外で足止めされているニュージーランド国民について、ホテルでの隔離なしでの帰国を認める。オーストラリアに滞在している人は今月27日から、それ以外の国に滞在している人はその2週間後から帰国を受け入れ、10日間の自主隔離を求める。続いて、専門技術を持つ移民、留学生、オーストラリア人など受け入れ対象を段階的に拡大し、最終的にワクチン接種済みの外国人全全ての入国を認める。ワクチン未接種の場合は引き続き、ホテルでの隔離が義務付けられる。ニュージーランド入国には現在、軍の監視下のホテルでの10日間の隔離が義務付けられている。ただ、現行制度下で確保されているホテルの部屋は1か月当たり800室のみで、定員の10倍の申し込みがあることも多かった。アーダーン氏は、隔離制度が新型コロナ封じ込めに重要な役割を果たし、人口約500万人のニュージーランドで死者を53人に抑えることができたことと主張。「隔離制度は本当に胸が張り裂けるほどつらいものだった。だが、それを導入した選択が命を救ったのは間違いない」と述べた。ニュージーランド航空(Air New Zealand)は発表を受け、3月にオーストラリアとの間で300便以上を運航する用意を進めているという。

スターフライヤー、国際線全便の運休期間延長 10月29日まで (TRAICY 2/3付)

スターフライヤーは、新型コロナウイルスの感染が拡大による需要減退が続いていることから、国際線全路線の運休期間を10月29日まで延長した。名古屋/中部・北九州～台北/桃園線の国際線2路線をいづれも1日1便運航していた。両路線ともに、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、2020年3月11日から運休を継続している。

タイ・スマイル、バンコク発着でホーチミン及びハノイへの路線を開設 (アジアトラベルノート 2/2付)

タイ国際航空子会社のタイ・スマイル(Thai Smile)がバンコク～ホーチミン線及びバンコク～ハノイ線を開設します。ホーチミン線の運航は週3便(月・水・金)、ハノイ線は週2便(金・日)。使用機材は共にエアバスA320で、ホーチミン線は昨日就航、一方のハノイ線は18日に定期便を開設する予定です。フライトスケジュールはそれぞれ以下の通り。

バンコク(スワンナプーム)⇄ホーチミン: WE550 BKK07:55 SGN09:25 火・水・日、WE551 SGN10:15 BKK11:40 火・水・日、バンコク(スワンナプーム)⇄ハノイ: WE564 BKK17:30 HAN19:20 金・日、WE565 HAN20:25 BKK22:15 金・日

これまでタイ国際航空が運航していた路線をタイ・スマイルに移管した形で、両路線共にコードシェア便として運航。経営のスリム化を図っているタイ国際航空では今後も近距離国際線を中心に路線の移管を進めていく計画です。

ACIとIATA、欧州各国に渡航制限の統一要請、「緊急の課題」 (TRVLWIRE 2/2付)

BTN Europeによると、空港の団体であるACI(国際空港評議会)ヨーロッパと国際航空運送協会(IATA)はこのほど、欧州各国に対し有効なワクチン接種証明書を持つ旅行者がEU域内を旅行する際にかける制限も受けることのないよう要請した。EUでは、理事会が出発国・地域による一律の渡航制限でなく個人の健康状態に基づく判断への切り替えを決定し2月1日から発効したが、加盟国が独自の入国制限を課すことも認められているところ。これに対してACIヨーロッパとIATAは、「EU共通の枠組みから逸脱している国は速やかに新たな枠組みに合わせるよう」呼びかけた。特に、オーストリア、キプロス、チェコ、リトアニア、マルタに対しては「緊急の問題として取り組みを必要とする有るべき制限を止めるよう要請する」としている。さらに、EU域内を対象とした枠組みを、第三区にからの入国にも早急に拡大するよう要求。「ワクチンを接種した旅客に検査を実施し続けても健康の観点からは全く効果がないと見られるが、旅客の信頼と国の経済にはダメージを与える」と訴えている。なお、こうした要請は航空会社や旅行会社の業界団体からも出されているところだ。

香港が入境者の隔離期間を短縮へ、21日間から14日間に (ロイター 1/28付)

香港政府トップの林鄭月娥(キャリー・ラム)行政長官は27日、2月5日から入境時の隔離期間を21日から14日に短縮すると発表した。21日間の隔離については財界や外交関係者から、競争力を阻害すると批判の声が出ていた。厳格な新型コロナウイルス感染防止措置により、香港は航空便が9割減となるなど、世界で最も孤立した地域の一つとなっている。見直し後の規制では、160カ国から香港に戻った居住者については、当局が指定したホテルでの隔離期間を21日間から14日間に短縮。その後7日間は自主管理が義務付けられる。対象国は明らかにしていない。

アエロメヒコ航空、会社更生計画を裁判所が承認 (TRAICY 1/29付)

アエロメヒコ航空は、会社更生計画が裁判所により承認されたことと発表した。2020年6月に破産を申請していた。アエロメヒコ航空は声明で、「当社の再建プロセスにとって、これまで最も重要なマイルストーンとなります。アエロメヒコ航空は、引き続きすべての主要なステークホルダーと協力して、連邦破産法第11条(チャプター11)の適用からの早期脱却を目指し、1月14日に開催された株主総会で採択された会社決議が完全に有効となるよう取り組んでまいります」とコメントした。アエロメヒコ航空は、メキシコシティを拠点に、メキシコ国内やアメリカ、カナダ、中南米、アジア、ヨーロッパに就航している。ボーイング787型機とボーイング737型機、エンブラエル190型機を保有している。スカイチームの創立メンバーで、パートナー19社とともに世界各地にネットワークを広げている。

KLMオランダ航空、日本線2路線週7便を運航 3月27日～5月29日 (TRAICY 1/27付)

KLMオランダ航空は、3月27日から5月29日までの運航スケジュールを決定した。東京/成田～アムステルダム線を週5便、大阪/関西～アムステルダム線を週2便の、あわせて週7便を運航する。

■ダイヤ:KL862 東京/成田(10:25)～アムステルダム(15:05)／月・水・木・金・土、KL861 アムステルダム(14:40)～東京/成田(08:40+1)／火・水・木・金・日、KL868 大阪/関西(10:25)～アムステルダム(15:00)／水・土、KL867 アムステルダム(14:45)～大阪/関西(08:50+1)／月・木

エールフランス航空、日本線3路線週11便を運航 3月27日～5月29日 (TRAICY 1/27付)

エールフランス航空は、3月27日から5月29日までの運航スケジュールを決定した。東京/羽田～パリ線を週5便、東京/成田・大阪/関西～パリ線を週3便の計週11便運航する。また、貨物需要を鑑み、貨物専用便も運航する。

■ダイヤ:AF275 東京/成田(10:35)～パリ(16:15)／火・水・金・土・日、AF276 パリ(13:30)～東京/成田(08:25+1)／月・火・木・金・土、AF293 東京/羽田(22:55)～パリ(04:35+1)／水・金・日、AF274 パリ(23:50)～東京/羽田(18:30)／火・木・土、AF291 大阪/関西(10:35)～パリ(15:55)／月・木・土、AF292 パリ(14:10)～大阪/関西(08:50)／水・金・日

タイランドパスのテスト&ゴー申請は2月1日午前11時(日本時間)から可能に ホテルは1泊目と5泊目の事前予約が必須 (アジアトラベルノート 1/21付)

タイは2月1日より隔離なし入国制度(Test&Go)を再開することを発表しましたが、渡航前の登録が必要なタイランドパス(Thailand Pass)の新規申請は同日午前11時(日本時間)より可能になるとのこと。タイ政府観光庁(TAT)が明らかにしているもので、申請はタイ入国の60日前から可能。これまで隔離なし入国は63カ国・地域からの旅行者に限定されていましたが、2月からは全ての国・地域が対象になります。ワクチン接種完了済みで出発前72時間以内のPCR検査陰性証明書やコロナ治療費(5万ドル以上)をカバーする医療保険などが必要な点は前回同様ですが、PCR検査はタイ到着時と5日目の2回必要に。それに伴い、宿泊施設(SHA Extra+)などの事前予約についても1泊目に加え5泊目も必須となっています(1泊目と5泊目は異なるホテルでも可)。

羽田空港、国際線旅客取扱施設利用料を引き上げ 出発客は大人2,950円 (TRAICY 1/21付)

東京国際空港ターミナルは、羽田空港の国際線旅客取扱施設利用料を引き上げる。国土交通省による上限認可に伴うもので、出発客からは大人2,950円・小人1,470円、乗り継ぎ客からは大人1,470円・小人730円を徴収する。東京国際空港ターミナルでは、2020年3月からの国際線発着枠の増枠に伴い、本館やサテライトの増築のほか、第2ターミナル国際線供用部分の増改築工事を行っていた。投資回収や運営費の増加を賄うため、変更を決めた。3月27日発券分から新料金を適用し、現行どおり、航空券購入時に運賃に含めて徴収する。

沖縄便対象に無料PCR検査 羽田など6空港発着 (Aviation Wire 1/21付)

政府は羽田など6空港と沖縄を結ぶ国内線の利用者向けに無料のPCR検査を1月20日搭乗分から始めた。2月28日搭乗分まで、全日本空輸(ANA/NH)や日本航空(JAL/JL、9201)など航空各社の国内線のうち、羽田、成田、中部、伊丹、関西、福岡空港から沖縄県内の空港へ向かう便と逆方向が対象で、経由便も含まれる。検査は木下グループ新型コロナPCR検査センターが実施する。空港内に検査センターがあるのは羽田(第1・第2ターミナル)と伊丹、福岡の3空港のみ。その他は店舗型の検査センターか検査キットを利用する。空港と店舗は検査センターの予約サイトで事前予約が必要で、検査キットは予約サイトで搭乗10日前までに注文し、6日前まで返送する必要がある。

国内主要空港、旅客の施設利用料を3月から引き上げ、羽田・伊丹・那覇空港など (トラベルボイス 1/19付)

国内主要空港が、旅客取扱施設利用料を2022年3月から引き上げる。国土交通省が1月18日、上限を認可した。国内線について、羽田空港発着は大人372円、小人186円、伊丹空港発着は大人340円、小人170円、那覇空港は大人240円、小人120円を、それぞれ航空運賃と同時に徴収する。適用は羽田・伊丹が3月1日、那覇が3月27日搭乗分から。羽田空港の国際線は大人2958円、小人1479円を3月27日搭乗分から適用する。旅客取扱施設利用料は、空港のターミナルビルの利用対価として、航空旅客から徴収する料金。

香港国際空港、高リスク国からの乗り継ぎを禁止 (TRAICY 1/15付)

香港国際空港を運営する香港空港管理局は、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大防止のため、高リスク国を出発する人の乗り継ぎを禁止する。1月16日から2月15日まで、高リスク国にあたるグループAに過去21日以内に滞在した人の乗り継ぎを禁止する。日本も含まれている。この他に、香港政府は1月8日から2月4日まで、オーストラリア、カナダ、フランス、インド、パキスタン、フィリピン、イギリス、アメリカからの旅客便の乗り入れを禁止している。また、これらの国に過去21日以内に2時間以上滞在した人は、香港へのフライトへの搭乗を制限している。

インドネシア新首都、ヌサンタラ 政府が方針、「群島」を意味 (東京新聞 1/17付)

インドネシアのジョコ政権が計画しているジャカルタからカリマンタン島(ボルネオ島)東部への首都移転について、スハルト国家開発企画庁長官は17日、新首都名を「ヌサンタラ」とする方針を明らかにした。地元メディアが伝えた。ヌサンタラは「群島」を意味し、世界最大の島しょ国家インドネシアを象徴する際によく使われる。スハルト氏によると、言語学者や歴史学者らが提案した80以上の候補名から選ばれ、ジョコ大統領が14日に同意。国会で審議中の新首都法案に盛り込まれる見込み。選定理由を「以前から国際的に知られ、インドネシアを簡潔に表している」と説明した。

メキシコ、コロナの入国要件廃止、すべて19年まで同一に (TRVLWIRE 1/14付)

Travel Off Pathによると、メキシコは1月1日から新型コロナウイルスに関連する入国時の要件をすべて撤廃した。昨年11月に廃止したエルサルバドルに続き世界で2ヶ国目の決定となる。メキシコはコロナ禍を通して旅行者の受け入れを継続してきており、2020年から世界で最も人気のある観光地となっている。それでも昨年末までは国内線を含めて航空便の利用時に健康状態に関するフォームへの回答が求められていたが、1月1日からはこれも不要とした。これにより、メキシコ訪問時の要件は2019年と全く変わらない状態となったという。

「コートヤード・バイ・マリOTT名古屋」を3月1日に開業 旧読売新聞中部支社跡地 (TRAICY 1/13付)

マリOTT・インターナショナルは、「コートヤード・バイ・マリOTT名古屋」を3月1日に開業する。予約受付を1月13日から開始した。積水ハウスがプロジェクトマネジメントと設計・施工を担い、竣工後は建物所有者である読売新聞東京本社より一棟借りの上で、マリOTT・インターナショナルと積水ハウスが共同で運営する。「コートヤード・バイ・マリOTT」の展開は、国内で6軒目。建物は地上12階、地下1階建て。客室は10室のスイートを含む360室を設ける。キングやツインを基本としており、ソファベッド付きの客室やコネクティングルームも設けている。ビュッフェやライブキッチンの並ぶレストラン「CRUST」やロビーラウンジ「THE LOUNGE」、フィットネスセンター、広さ440平方メートルで500名まで収容できるセントラルホール・ルームなども備える。アクセスは地下鉄伏見駅から徒歩約10分、名古屋駅から徒歩約18分。旧読売新聞東京本社中部支社跡地に位置する。リワードカテゴリーは4。

PCや液体物、取り出さずに手荷物検査 3D画像をチェック JALが羽田に導入 (IT media NEWS 1/11付)

日本航空(JAL)は1月11日、X線CT検査装置を導入した保安検査レーン「JAL SMART SECURITY」を、4月から羽田空港国内線に導入すると発表した。PCや液体物をカバンから取り出すことなく手荷物検査できるようにする。手荷物の3D画像を使ってX線検査を行うため、PCや液体物を取り出す必要がないという。1レーンにつき準備台が3カ所ある「スマートレーン」を採用し、待ち時間を短縮。準備ができた旅客から順に保安検査に進める。検査を通過した手荷物と、追加検査が必要な手荷物のレーンも「分かれており、検査通過済みの手荷物をよりスムーズに受け取れる。保安検査用トレイを殺菌できるUV殺菌装置も備えている。1月下旬ごろから設置工事を進め、4月以降、羽田空港国内線の各保安検査場に順次導入。8月ごろまでに導入を終える予定だ。

エミレーツ航空、東京/羽田〜ドバイ線を3月1日再開 週4便 (TRAICY 1/10付)

エミレーツ航空は、東京/羽田〜ドバイ線の運航を3月1日から再開する。当初は12月から運航再開を予定していたものの、3度目の延期となった。運航日は東京/成田発が月・水・木・土曜、ドバイ発が火・水・金・日曜の週4便となる。機材はボーイング777-300ER型機を使用する。これにより、東京/成田〜ドバイ線の1日1便、大阪/関西〜ドバイ線の週5便を合わせ、日本路線は3路線週16便を運航することになる。
■ダイヤ:EK313 東京/羽田(00:05)〜ドバイ(06:55) / 月・水・木・土、EK312 ドバイ(08:20)〜東京/羽田(22:30) / 火・水・金・日

ANA・JAL、一部空港ラウンジでの酒類提供制限 9日以降 (TRAICY 1/8付)

全日本空輸(ANA)と日本航空(JAL)は、まん延防止等重点措置の適用に伴い、一部空港のラウンジでの酒類の提供を制限する。1月9日から、両社のラウンジとともに、広島空港では終日酒類を提供せず、那覇空港では午前11時から午後8時までの提供とする。なお、まん延防止等重点措置の適用によるラウンジの営業時間に変更しない。1月9日から31日まで間、広島県、山口県、沖縄県を対象に新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置を実施する。

フィリピン航空、4カ月で経営再建終了 債務削減などを達成 (FLY TEAM 1/6付)

フィリピン航空は2021年12月31日(金)、アメリカ連邦破産法11条(チャプター11)を終了し、新たな経営体制で再建を果たしました。およそ4カ月と短期間の再建を果たし、債務削減、流動性の向上により、今後の成長余地を確保した経営環境に生まれ変わり、フルサービス航空会社として運航を継続します。フィリピン航空は2021年9月、チャプター11適用をアメリカで申請。新型コロナウイルスによる経営環境の悪化を受け、債権者の多いアメリカで手続きを申請し、運航を継続しながら経営再建に取り組みました。申請時に計画していた約20億ドル(約2,318億円)の債務削減を実現し、新たな資金援助として5億500万ドル(約585億円)を確保しました。計画は、債権者から100%の同意を得ています。機材数はコロナ前は保有機98機でしたが、70機程度に縮小します。今後、フィリピン航空はフィリピン発着のアメリカ・カナダの太平洋横断路線のほか、日本、オーストラリア、中東行き路線を主力路線として運航。東南アジア路線は香港、中国、韓国、台北、シンガポール、タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシアを結ぶ。このうち、中国本土の複数の都市を結ぶ定期便を再開するほか、オーストラリア路線の再開、新たな路線としてイスラエル路線を開始するなど、各国の入国措置の緩和に合わせて、定期便路線を再開、運航便数を増やす計画です。自社便での運航再開に加え、コードシェアとインターラインパートナーシップを通じ、利用者の最終目的地までの利便性も確保します。さらに、新たに設立された航空貨物事業では、規模拡大に取り組みます。ワクチンや医療機器の空輸など特定の需要だけでなく、航空貨物市場への対応を目指します。旅客向けにはウェブサイトやモバイルアプリなどの活用で、予約から支払い、チェックイン、搭乗手続きなどデジタルトランスフォーメーションを加速させています。コンタクトセンターのチャット機能提供や対話型の音声応答(IVR)機能などを含め、2022年も継続的に新サービスを投入します。

タイ国際航空、大阪/関西〜バンコク線を増便 3月1日から1日1便 (TRAICY 1/5付)

タイ国際航空は、大阪/関西〜バンコク線を3月1日から1日1便に増便する。12月7日から週6便に増便し、1月1日から2月28日までの間は週5便に減便している。3月からは1日1便に増便する。現在、日本路線はこの他に、東京/成田〜バンコク線を1日1便、名古屋/中部〜バンコク線を週3便運航している。
■ダイヤ:TG623 大阪/関西(11:00)〜バンコク(15:45)、TG622 バンコク(23:59)〜大阪/関西(07:20+1)

ルフトハンザ・ドイツ航空、名古屋/中部〜フランクフルト線再開を延期 6月1日から週5便 (TRAICY 1/5付)

ルフトハンザ・ドイツ航空は、名古屋/中部〜フランクフルト線の運航を6月1日から週5便で再開する。名古屋/中部発は月・火・木・土・日曜、フランクフルト発は月・水・金・土・日曜の週5便をエアバスA340-300型機で運航する。当初は夏スケジュール期間の運航再開を計画していたものの延期され、その後に今冬スケジュール期間の運休を発表していた。2月の運航再開を目指していたものの、延期となった。
■ダイヤ:LH737 名古屋/中部(09:55)〜フランクフルト(15:10) / 月・火・木・土・日、LH736 フランクフルト(14:05)〜名古屋/中部(08:30+1) / 月・水・金・土・日

エアアジア、「キャピタルA」に社名変更へ (日本経済新聞 1/4付)

マレーシアの大手格安航空(LCC)、エアアジア・グループは3日、社名を「キャピタルA」に変更する計画を発表した。新型コロナウイルス禍で航空業界の苦境が続くなか、同社は貨物宅配やフィンテックなど非航空事業の拡大を急いでおり、多角化を社名に反映する狙いがある。企業登記当局の認可は取得済みだが、社名変更には株主の合意が必要。株主総会の日程は後日発表する。航空事業は引き続き「エアアジア」のブランドで運営するとみられる。エアアジアの2021年1～9月の最終損益はコロナの移動制限の影響などで22億リンギ(約600億円)の赤字だった。12月末に9億7500万リンギの増資を完了するなど、資金調達を急いでいる。同社はマレーシアでデジタル銀行免許を申請したほか、アジアで電子商取引や配車、食事宅配などのデジタル事業に乗り出している。

大韓航空、世界の航空会社で初となる電子書類システムを導入 (WOW! Korea 12/28付)

大韓航空は28日、電子ドキュメントシステム「e-DOC」を導入し、各種サービスのために顧客が作成しなければならない文書23種について、全面的なデジタル化の適用を開始したと発表した。「e-DOC」の適用は、世界の航空会社で初となる。大韓航空を利用する顧客は、ベットの運送同意書や非同伴児童の申請書、健康状態の誓約書などの各種書類を、スマートフォンやタブレット端末といったデジタル機器を利用し、いつでもどこでも作成可能となる。また予約情報が自動的に反映されるため、顧客が直接記載しなければならない内容が減ったほか、「e-DOC」に記録された連絡先とEメールが同社のマイレージプログラム「スカイパス」に自動アップデートされるなど、利便性がいっそう向上した。「e-DOC」の導入により、顧客がデジタル機器で作成した書類は安全性の高いサーバーに保存される。韓国内外の各支店では、サーバーに保存された書類の情報を専用端末で閲覧できるようにする。これにより迅速な業務処理が可能となり、顧客の待機時間が大幅に減少する。これとともに文書がサーバーで自動保存および破棄処理されるため、個人情報の保護機能もより強化されている。

シンガポール、ワクチン接種者専用フライト及びバスの新規受付を一時停止 (アジアトラベルノート 12/23付)

シンガポールは、ワクチン接種済みの海外からの旅行者を隔離なしで受け入れる制度ワクチントラベルレーン(VTL)について、専用フライトやバスのチケットの新規販売を本日12月23日より一時停止すると発表しています。オミクロン株の世界的な感染拡大を受けた措置で、停止期間は来年1月20日まで。VTL自体は今後も継続し、既に予約済みのVTLフライトやVTLバスのチケットを持っている旅行者についてはこれまで通り隔離なしでの入国が可能です。また、1月20日以降もVTLでの旅行者数・チケット販売数を制限する予定とのこと。シンガポールは現時点で以下の24か国からの旅行者を対象に空路でのVTLを実施。また、マレーシアとの間では陸路VTLも行なっています。

アジア: マレーシア、インドネシア、タイ、カンボジア、ブルネイ、インド、スリランカ、モルディブ、韓国、ヨーロッパ: イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、デンマーク、フィンランド、スウェーデン、スイス、トルコ、北米: アメリカ、カナダ、オセアニア: オーストラリア、フィジー

セントレアに木下グループPCRセンターがオープン! (セントレアニュースレター第18号)

約30分で結果がわかる抗原定性検査やPCR検査など、空港利用者や近隣の皆さま、企業の皆さまに2種類の検査メニューを提供します。国内出張やご旅行の前にぜひご活用ください。

● 開業日: 2月10日(木) ● 場所: 第1ターミナル2階 到着ロビー中央 ● 営業時間: 8:00～20:00(定休日: 無) ● 提供内容: ① 唾液採取による「PCR検査」…2,300円。最短翌日中に結果判明。② 鼻腔ぬぐい液による「抗原定性検査」…1,600円。約30分後に結果判明。● その他:
・ 専用WEBサイトからの完全予約制です(希望検査日の5日前からご予約可能)。
・ 当検査センターで発行される陰性証明書記載事項で海外渡航できるかはお客様ご自身でご利用予定の航空会社、渡航予定先入国窓口へお問合せをお願いします。

「日帰りヒコキ」駐車場無料キャンペーン (セントレアニュースレター第18号)

セントレアから日帰りで飛行機をご利用のお客様を対象に駐車場料金無料キャンペーンを実施しております。日帰りで航空機利用がわかる往復搭乗券とセントレア公式LINE アカウント内のクーポン、駐車券を指定の案内所でご提示いただくだけでご利用いただけます。

■ 割引内容: 普通車1日分の駐車場料金(1,600円)が無料 ※車種を問わず最大1,600円を割引。 ■ 対象期間: 2022年3月24日(木)まで お手続き方法はこちらから: <https://www.centrair.jp/special/campaign/daytrip/campaign.html>

中部空港FLIGHT OF DREAMS、「気軽さ」軸に刷新 地元客強化、家族連れでにぎわう (Aviation Wire 12/23付)

中部空港(セントレア)を運営する中部国際空港会社は12月23日、複合商業施設「FLIGHT OF DREAMS(フライト・オブ・ドリームズ)」の展示エリアをリニューアルし再開した。これまで入場料が必要な有料エリアだったが、リニューアル後は一部の遊具を除き、無料で開放する。刷新前の照明を落とした暗めの雰囲気から、明るい館内に変更。「気軽さ」を軸とし、近隣から訪れる地元客の誘客強化を図る。FLIGHT OF DREAMSはボーイング787型機の実機を展示する商業施設で、展示された機体を眺めながら買い物や食事を楽しめる。今回再開したのは「Flight Park(フライトパーク)」と呼ばれる1階エリアで、広さは4000平方メートル。航空や空港を学べる「展示エリア」と子供を対象とした「キッズエリア」の2エリアを整備し、地域の子育てや学習施設としての活用を目指す。再開するフライトパークにはこれまで同様、787-8の飛行試験初号機「ZA001」(登録記号N787BA)を展示。展示エリアは「飛行機エリア」と、中部空港や航空に携わる仕事をパネルや映像で紹介する「空港エリア」に分類する。飛行機エリアでは、787の開発の歴史や技術パネルや映像で紹介するほか、787を製造する各社からの部材サンプルなどの協賛品を展示する。またエンジンを間近で見学できるスペースも新設するなど、将来的に航空産業へ興味を持ってもらえるような作りをした。キッズエリアは、有料の「大型ネット遊具」と、無料のターザンロープ、サーキットなどを新設する。787の真横に設置する大型ネット遊具は、雲をモチーフとしたもので、地上1.5メートルと6メートルの2層式トランポリンや、高さ5メートルのスライダーを設置する。対象年齢は3歳から12歳までの子供で、1回300円で利用できる。1日券も用意し、500円で販売する。フライトパークは年中無休で、午前10時から午後5時まで営業する。ボーイングのオフィシャルグッズを販売する「ボーイングストア」と、LUXURY FLIGHT(ラグジュアリーフライト)が運営する有料の787シミュレーターは、リニューアル後も引き続き利用できる。2018年10月12日にオープンしたFLIGHT OF DREAMSは、2019年8月30日に開業した愛知県国際展示場と、同年9月20日に供用を開始したLCC専用の第2ターミナル(T2)の中間に位置。787-8の飛行試験初号機を中心に、体験型コンテンツを提供する有料の展示エリア「フライトパーク」と、飲食や物販などの店舗が同居する無料の商業エリア「Seattle Terrace(シアトルテラス)」で構成する。今回のリニューアルに伴い終了したのは、787-8の実機と館内空間を使用した映像と音のショーを展開する「Fly with 787 Dreamliner」(フライ・ウィズ 787ドリームライナー)など、デジタルコンテンツ6種類。いずれもチームラボ(東京・文京区)がプロデュースを担当し、今年3月31日で終了した。再開初日となった23日は正午にオープン。リニューアルセレモニーを開催し、中部国際空港会社の犬塚力社長と地元・常滑市の伊藤辰矢市長、ボーイング・ジャパン広報部のロブ・ヘンダーソン部長の3人がテープカットで再開を祝った。刷新前は暗かった館内は、今回のリニューアルで明るいものに変更。デジタルを駆使したこれまでの「クールでかっこいい」(犬塚社長)ものから家族連れの誘客を狙う親しみやすいものに変更した。今回のリニューアルについて、犬塚社長は「長い時間、快適に過ごしていただく」と狙いを説明。子供向けの遊具などを用意することにより、「何度でも足を運んで、興味を持ってもらいたい」と述べた。常滑市の伊藤市長は「子育て世代に魅力的な施設に変わった」とあいさつ。ボーイング・ジャパンのヘンダーソン部長は、787の導入機数が日本が世界一で、機体の構造部位の35%を日本企業が製造し、中部空港から米国の工場に輸送していることなどに触れた上で、「中部は(初号機の)里帰りにふさわしい。楽しい思い出を作って」と流ちょうな日本語で語った。再開後は犬塚社長ら3人が家族連れや年配の夫婦など、多くの利用客を出迎えた。これまでターゲットとしていた航空ファン以外の客層が目立ち、来場者は手持ちのスマートフォンなどで気軽に撮影するなど、明るく生まれ変わった館内を楽しんだ。

中部空港に2本目滑走路 愛知知事が構想案 27年にも運用開始へ (毎日新聞 12/13付)

愛知県の犬塚力知事は13日、中部空港(同県常滑市)の現滑走路の東側に、2本目の滑走路を新設する構想案を明らかにした。2005年の開港から16年、老朽化が進む現滑走路の大規模補修を急ぐ必要があるとの判断で、誘導路を改修する形で工期を圧縮し、27年にも運用開始することを狙っている。将来的には空港島西側のしゅんせつ土砂埋め立て予定地にもう1本の滑走路を設け、新設2本で発着能力を今の1.5倍に高める。14日に関係自治体や経済団体などを集めた調整会議で合意を得て、国に空港計画変更を求めるとの方針。県によると、2本目は現滑走路の210メートル東に平行し、旅客ターミナルとの間に設ける。210メートルは滑走路2本を運用する最低限の間隔で、2本目の長さも現滑走路の3500メートルより短い3290メートルとし、離陸専用にする。これで発着能力は1.2倍に増え、現滑走路の大規模補修も可能になるという。総工費140億円で中部国際空港会社が負担し、県も財政支援する。さらに、しゅんせつ土砂の埋め立ての完了後に3500メートルの滑走路を設け、現滑走路を廃止する。新設2本の間隔は760メートルあり、1.5倍の発着能力が見込めるという。当初はこの埋め立て地が2本目の候補地とされていたが、約230ヘクタールの埋め立てに約15年かかり、現滑走路の補修への支障が懸念されていた。また、漁場に影響を受ける三重県の漁協関係者から「埋め立ては名古屋屋敷のしゅんせつ土砂の処分が必要だと合意した。滑走路建設が目的とは説明されていない」などと反発する声もあった。埋め立て事業は今年1月に国土交通省中部地方整備局と愛知、三重の各漁協との間で補償交渉が合意し、5月に愛知県が承認した。犬塚知事は13日の記者会見で「新型コロナウイルスが収まれば、空港事業は回復する。グローバル化に対応するため、2本目は不可欠だ」と強調した。中部空港は、愛知万博の開業直前の2005年2月にオープンした。旅客数はリマン・ショックの影響などで一時低迷したが、11年度を底に増加に転じ、その後、訪日外国人のインバウンド需要に支えられて、格安航空会社(LCC)向けの第2ターミナルを新設した19年度に過去最多を更新した。しかし新型コロナウイルスで状況は一変した。国際線の発着はほぼ停止され、20年度の旅客数は前年度のわずかに16%と激減。ピーク時の19年度冬に週486便あった国際線旅客便は21年度冬に17便にとどまっている。愛知県や中部財界などは需要拡大を見込んで2本目の滑走路を求めたが、インバウンドの回復が見通せない中、老朽化が進む現滑走路への対応が切実になってきた。深夜や早朝に発着するLCCが増え、メンテナンスの時間確保が難しくなった上、大規模補修には毎日6時間間隔での滑走路閉鎖は避けられない。24時間空港の運用には2本目が不可欠だとして、すぐに着手できる空港島内での滑走路新設が浮上した。国内の旅客数上位10位(19年度)の主要空港では、滑走路1本での運用は中部と福岡、鹿児島のみ。うち福岡は25年3月に2本目の開業が予定されている。

中部国際空港PCR検査センター（セントレアホームページ）

PCR検査ラボを併設した「中部国際空港PCR検査センター」を中部国際空港診療所内に併設しております。中部国際空港PCR検査センターでは、高速で鼻咽頭PCR検査を行う装置を導入し、新型コロナウイルスの件結果判定を約3時間で行います。検査は海外への渡航当日も可能です。（要予約。当日の受付状況により時間を要す場合もあります）

【中部国際空港PCR検査センター概要】

・営業時間：年中無休（診療所の営業時間に応じる） ・検査時間：9:00～17:00（診療所の営業時間に応じる。事前予約制）
・検査方法：RT-PCR検査 ・検査容量：一日あたり最大約100件 ・検査料：38,500円（税込） ※証明書発行手数料（1通）含む

【予約～検査当日までの流れ】

- (1) 中部国際空港診療所にメールまたはFAXでご予約ください（事前予約制）
- (2) 検査当日、中部国際空港診療所で受け付け
- (3) 中部国際空港PCR検査センターでパスポートと予約情報を照合
- (4) 検体採油ブースで臨床検査技師による鼻咽頭ぬぐいを採取
- (5) 全自動核酸増幅装置でRT-PCR検査を実施
- (6) 約3時間後に陰性証明書の準備ができ次第電話でご案内
- (7) 第1ターミナル3階案内センターで陰性証明書を受け取り

★詳しくは中部国際空港診療所ホームページにてご確認ください。

第1ターミナル3階案内センターで「海外渡航者向けPCR検査」の陰性証明書の受け取りが可能です

藤田医科大学病院（豊明市）、藤田医科大学ばんだね病院（名古屋市中川区）、藤田医科大学岡崎医療センター（岡崎市）で「海外渡航者向けPCR検査」を受けた方の陰性証明書について、第1ターミナル3階案内センターでも受け取りが可能です。案内センターで陰性証明書を受け取る為には、学校法人藤田学園が運営する病院でのPCR検査の受検及び検査時に証明書の受取場所をご指定いただく必要がございます。